

異常高温・高飽差緊急情報(第1号)

令和5年8月23日
新潟県農林水産部

8月22日に異常高温と強い乾燥が県内で観測されました。また、8月24日にかけて異常高温が予想されており、7月24日頃までに出穂したこしいぶきでは、胴割粒発生危険性が高まっています。

籾の黄化割合を確認し、可能な限り速やかに収穫してください。

〔気象状況〕

- ◎ 8月22日に異常高温と強い乾燥が発生しました。こしいぶきの胴割粒発生危険水準 9 g/m^3 を超える日平均飽差^{注)} が県内で観測されました(次頁参照)。
- ◎ 24日にかけて最高気温 38°C とかなりの高温が予想されています。

注) 飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいほど乾燥程度が大きいことを示す。胴割粒が増加する日平均飽差の基準はこしいぶき 9 g/m^3 以上

〔当面の管理対策〕

- ◎ 籾の黄化割合を確認し、成熟期を迎えたこしいぶきでは、できる限り速やかに収穫してください。
- ◎ 登熟初期がかなりの高温で経過していることから、胴割粒が発生しやすい状態になっています。また、籾水分が22%未満の時期に極度に乾燥した状態に遭遇すると胴割粒が急増します。ほ場ごとに籾水分を確認し、22%を下回る場合は、出穂期後積算気温 900°C 、籾黄化率75~80%を収穫開始のめやすとし、通常より早めに収穫し、刈遅れに注意してください。
- ◎ 収穫時の籾水分が低い場合は、日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行いましょう。点火は夜間等に気温が下がってから、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低めに設定して丁寧に乾燥しましょう。
- ◎ 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能がある場合はそれを活用しましょう。

暑い日が続きますので、熱中症と農作業事故に注意しましょう。

参考資料

県内アメダス観測地点(湿度を測定する7地点)における日平均飽差※の実測値

(令和5年8月22日分)

(g/m^3)

地点名		村上	新潟	新津	柏崎	大潟	高田	相川
実測値	8/22 (火)	8.5	10.5 ●	8.8	5.5	4.8	7.6	7.0

数値下の記号について $9.0 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上 : ●

この値は、対象日の温度・湿度の平均値から日平均飽差を計算した実測値です。
実測値は下記 URL ホームページにも掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/r5inasaku.html>

※ 日平均飽差 (g/m^3) とは

水稻成熟期における飽差の大きさは、胴割粒の発生しやすさを表します。籾水分が22%未満の時にこしいぶきでは $9 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上の日平均飽差に遭遇すると、胴割粒が増加する傾向があります。

科学的には、1立方メートルの空気中に、あと何グラムの水蒸気を含むことができるかを示す値のことで、空気の乾燥程度を表しています。この数値が大きいほど、空気中により多くの水分を含むことができ、湿りやすい状態であることを示します。

異常乾燥への対応（フェーンや乾燥による胴割粒の多発を抑制する早期収穫判断のめやす）については、ホームページ及び令和5年8月21日発行の「水稻の生育状況と今後の管理対策（高温対策臨時号 第3号）」を参考にしてください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/375083.pdf>